

就労継続支援  
B型事業所

# 「どんまい」正式オープン

## 吉田市長らが出席して開所式



市長ら関係者が弁当を試食。「おいしい」という声が上がっていた

社会福祉法人三浦市社会福祉協議会が運営する、就労継続支援B型事業所「どんまい」が正式にオープンし、6月28日に関係者らが出席して市総合福祉センターで開所式が行われた。

「就労継続支援事業B型」は、一般就労が難しい人や離職した人、仕事をする上で社会的自立を目指した人に働く場を提供するとともに、知識と能力の向上

のために必要な訓練を行なう事業。今回開所した「どんまい」は、生産活動を「宅配弁当事業」に定め、働く喜びとともに喜ばれる感動を体験できる事業展開をモ

ットーとして運営し、短時間からの利用も可能で、利用する人に個別に活動内容を検討し支援を行っていく。宅配する弁当は、拠点となる市総合福祉センター内に最新の厨房機器を導入することで、充実した味の均一化を実現。また、基本的に冷凍食品は使わず地元の食材を使用し、低カロリーのヘルシーな弁当を提供。通常は500円で、料金は味付けや内容によって変わるが、好みに応じた注文にも基本的に対応する。現在すでに市役所の職員らが利用し、好評だという。

開所式当日は、吉田英男市長をはじめ木村謙蔵県議、北川年一市議会副議長のほか、関係者らが出席。式典の後、弁当の試食も行われた。

式典の席上、挨拶した吉田市長は「市と社会福祉協議会との協力関係はすでにできているが、今後も地域が様々な面で連携してやっていけるように市が取りまとめ役を担っていききたい」

とし、木村県議も「弁当を売ることに協力したい」と話した。

また、試食後は、出席者から「おいしい」「がんばってほしい」という言葉が出ていた。

「どんまい」の利用については、最寄りの相談支援事業所（三浦市民は市の障害福祉担当）に相談。利用手続き後、どんまい（市社会福祉協議会）と契約し、利用開始となる。

市 ☎046（882）1111 保健福祉部福祉課障害福祉担当  
市総合福祉センター ☎同（888）7655。

